

# 記入例

## 景観計画区域内行為届出チェックリスト

### 【建築物用】

#### ■届出書類一覧

| No. | 書 類 名                  | チェック欄 | 備考 |
|-----|------------------------|-------|----|
| 1   | チェックリスト（建築物用）          | ✓     |    |
| 2   | 景観計画区域内行為届出書（様式第8号）    | ✓     |    |
| 3   | 建築物の概要（別紙1）            | ✓     |    |
| 4   | 位置図（2500分の1以上）         | ✓     |    |
| 5   | 計画平面図（100分の1以上）        | ✓     |    |
| 6   | 外構図（100分の1以上）          | ✓     |    |
| 7   | 本体立面図（100分の1以上）        | ✓     |    |
| 8   | 現況写真（2方向以上からのもの2～3枚程度） | ✓     |    |

#### ■推奨基準への配慮（評価欄：◎十分配慮した ○配慮した －該当なし）

| 区分                  | 推奨行為                                                                              | 評価欄 | 配慮した点                    |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------|
| 外 観<br>(全体)         | 盆地を見下ろしたときに果樹園の景観になじむ外観とする。                                                       | ◎   | 平屋建てとし、高さを低く抑えた。         |
|                     | 主要な場所からの眺望景観を阻害しない外観とする。                                                          | ◎   | 前面道路から離隔をとった位置に建築物を配置した。 |
|                     | 特に山裾の果樹地帯に立地する場合は目立たない外観となるようにする。                                                 | ◎   | 外壁を周囲に馴染む色彩とした。          |
|                     | 一つの大きな建築物にすることを避けて、できるだけ分棟化する。                                                    | ○   |                          |
|                     | 周囲から突出しないようにする。<br>※突出する場合は、事前に予測画像などを公表し市民の意見を広く聞くなどして、市民に受け入れられる美しい建築物となるようにする。 | ○   |                          |
| 屋根<br>・<br>頂部<br>形状 | 伝統的様式であった切妻屋根を原則として、他の屋根形式を採用する場合は周囲との調和に配慮する。                                    | ○   |                          |
|                     | 屋上設備は屋根や塔屋等と一体化して露出しないようにする。                                                      | －   |                          |

| 区分                      | 推奨行為                                                              | 評価欄 | 配慮した点                  |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|------------------------|
| 壁面<br>形状                | 大きな壁面が出ないようにする。<br>(凸凹、雁行、柱、目地などで分節化する)                           | ◎   | 外壁を目地で分節化した。           |
|                         | 低層の区画に高層建築が混じる場合は、<br>高層建築の低層部のデザインを周囲になじませる。                     | －   |                        |
| 色 彩<br>(屋根<br>・<br>外壁等) | 果樹地帯の景観になじむ色彩とする。<br>(ぶどう畑、桃畑、寺社建築、自然の色など)                        | ◎   | 色彩誘導基準内のブラウン系の色彩を採用した。 |
|                         | 伝統的な甲州民家で用いられているような自然素材の色彩をできるだけ使うよう努める。<br>(木材、土壁、しっくい、銀瓦、茅葺きなど) | －   |                        |
|                         | 光を反射しやすい瓦はできるだけ避ける。                                               | ○   |                        |
|                         | トタン屋根を塗装する場合は彩度の高い色彩は避ける。                                         | －   |                        |
|                         | 彩度の高い色彩（目立つ色彩）を使う場合は、使用する面積を抑える。全体の1割以内を目安にする。                    | －   |                        |
| 外構<br>・<br>植栽           | 敷地内をできるだけ緑化する。                                                    | ○   |                        |
|                         | できるだけ庭が外から見えるようにする。                                               | ○   |                        |
|                         | 敷地と道路の境界を樹木や草花などでできるだけ修景する。                                       | ○   |                        |
|                         | 大規模な駐車場はできるだけ緑化する。                                                | －   |                        |